

# 授業時間割 3年前期

平成16年4月5日～平成16年9月24日

月	日	月				日	火				日	水				日	木				日	金														
		1	2	3	4		1	2	3	4		1	2	3	4		1	2	3	4		1	2	3	4											
		8:50 10:20	10:30 12:00	13:00 14:30	14:40 16:10		8:50 10:20	10:30 12:00	13:00 14:30	14:40 16:10		8:50 10:20	10:30 12:00	13:00 14:30	14:40 16:10		8:50 10:20	10:30 12:00	13:00 14:30	14:40 16:10		8:50 10:20	10:30 12:00	13:00 14:30	14:40 16:10											
4	5	病理総論系	免疫系	6	病理総論系	感染系	7	分子病態系	感染系	薬理系	8	薬理系	環境因子系	医と社会	9	腫瘍系	感染系	薬理系																		
	12																		13	14	15	16														
	19																		20	21	22	23														
	26																		27	28	29	30														
5	3	憲法記念日				4	国民の休日				5	こどもの日				6	薬理系	環境因子系	医と社会	7	腫瘍系	感染系	薬理系													
	10	病理総論系	免疫系	11	病理総論系	感染系	12	健康診断	13	14	15	16	17	18	19	20								21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31		
	17	病理各論系		18	病理各論系		19	健康診断																											20	健康診断
	24	病理各論系		25	病理各論系		26	健康診断																											27	健康診断
	31	開学記念日休業					1	健康診断																											2	健康診断
6	7	免疫系	病理各論系	8	感染系	病理各論系	9	分子病態系	分子病態系	10	薬理系	環境因子系	医と社会	11	腫瘍系	感染系	薬理系																			
	14			15			16			17				18																						
	21			22			23			24				25																						
	28			29			30			31				1																						
	5			6			7			8				9																						
7	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31																
	19	海の日				20	試験期間				21	試験期間				22	試験期間				23	試験期間														
	26	夏季休業				27	夏季休業				28	夏季休業				29	夏季休業				30	夏季休業														
	2					3					4					5																				
	9					10					11					12																				
16	17					18					19																									
23	24					25					26																									
8	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24										
	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31										
	13	試験期間				14	試験期間				15	試験期間				16	試験期間				17	試験期間														
	20	敬老の日				21	試験期間				22	試験期間				23	試験期間				24	試験期間														

試験期間:7月20～23日・9月13日～24日

# 授 業 時 間 割 3 年 後 期

平成16年9月27日～平成17年3月31日

月	日	月				日	火				日	水				日	木				日	金																																									
		1	2	3	4		1	2	3	4		1	2	3	4		1	2	3	4		1	2	3	4																																						
		8:50 }	10:30 }	13:00 }	14:40 }		8:50 }	10:30 }	13:00 }	14:40 }		8:50 }	10:30 }	13:00 }	14:40 }		8:50 }	10:30 }	13:00 }	14:40 }		8:50 }	10:30 }	13:00 }	14:40 }																																						
		10:20	12:00	14:30	16:10			10:20	12:00	14:30	16:10			10:20	12:00	14:30	16:10			10:20	12:00	14:30	16:10																																								
9	27	血液・リンパ系		呼吸器系		28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28																																							
	4	血液・リンパ系		呼吸器系																					5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5																					
	11	体育の日																																									12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12			
	18	血液・リンパ系		呼吸器系																																																									19	19	19
25	血液・リンパ系		呼吸器系		26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26																																								
1	血液・リンパ系		呼吸器系																					2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2																					
8	血液・リンパ系		呼吸器系																																								9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9			
15	血液・リンパ系		呼吸器系																																																										16	16	16
22	休業日(長大祭)				23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23																																								
29	血液・リンパ系		呼吸器系																					30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30																					
6	血液・リンパ系		呼吸器系																																								7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7			
13	試験期間																																																												14	14	14
20	試験期間				21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21																																								
27	冬季休業																							28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28																					
3	成人の日																																										4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4			
10	血液・リンパ系		呼吸器系																																																										11	11	11
17	リサーチセミナー				18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18																																								
24	リサーチセミナー																							25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25																					
31	リサーチセミナー																																										1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1			
7	試験期間																																																												8	8	8
14	試験期間				15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15																																								
21	試験期間																							22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22																					
28	試験期間																																										1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1			
7	春季休業																																																												8	8	8
14	春季休業				15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15																																								
21	春季休業																							22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22																					
28	春季休業																																										29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29			

試験期間: 12月13～22日

試験期間: 2月21～3月4日(再試験のみ)

# 医 と 社 会

責任者 高 橋 晴 雄  
耳鼻咽喉科学（耳鼻咽喉病態制御学）  
内線：3023 E-mail: htak0831@net.

## 1．教育目標・方針

患者の立場に立った医療を行える医師を目指すために、診療所および老健施設、障害者施設、在宅訪問看護などの体験を通して、患者との良好なコミュニケーションのとり方、患者の診察法、チーム医療の重要性を理解する。また病気に苦しんでいる人および身障者の人達と接する際の医学生としての基本的マナーや心構えおよび対応の仕方などを学ぶ。

同時に診察、介護などの体験実習を通して、診察や介護面で出てきた問題点を抽出し、自己による問題解決能力を身につける能動学習法を実践する。

## 2．授業内容（講義・実習項目）

### 1）実習

- (1) 診療所体験実習
- (2) 老健施設、在宅介護センター体験実習
- (3) 障害者リハビリセンター体験

### 2）講義(実習も含む)内容

- (1) 患者とのコミュニケーション（模擬患者）
- (2) 患者診察入門
- (3) 高齢者医療
- (4) 介護・介助（介護保険とチーム医療）

### 3）体験発表およびワークショップ

診療所等の体験について討論し、発表を行う。

最終日には、取り上げられたテーマについてワークショップを行う。

## 3．教科書・参考書等

適宜プリントを配付する。

## 4．評価法

レポート、実習状況、出欠状況などを総合して評価する。

## 5．教官名

授業計画を参照

医と社会授業予定（3年前期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教官	教室
4	8	木	3 4	医療面接 1	医療面接とコミュニケーション	総合診療科・大園、前田	第 1
4	15	木	3 4	医療面接 2	医療面接法の実際	総合診療科・大園	第 1
4	22	木	3 4	患者診察 / 介護	患者診察入門	総合診療科・前田、阿部 保健学科・鷹居	第 1
5	6	木	3 4	高齢者医療	高齢者医療	保健学科・田代	第 1
5	13	木	3 4	介護 / 患者診察	医療と介護	総合診療科・前田、阿部 保健学科・鷹居	第 1
5	20	木	3 4	実習	学外体験実習 1	耳鼻咽喉科・高橋	
5	27	木	3 4	実習	学外体験実習 2	耳鼻咽喉科・高橋	
6	3	木	3 4	実習	学外体験実習 3	耳鼻咽喉科・高橋	
6	10	木	3 4	実習	学外体験実習 4	耳鼻咽喉科・高橋	
6	17	木	3 4	実習	体験発表・検討	耳鼻咽喉科・高橋	臨 2
6	24	木	3 4	実習	学外体験実習 5	耳鼻咽喉科・高橋	
7	1	木	3 4	実習	学外体験実習 6	耳鼻咽喉科・高橋	
7	7	水	3 4	実習	ワークショップ	耳鼻咽喉科・高橋	臨 2
7	8	木	3 4	実習	学外体験実習 7	耳鼻咽喉科・高橋	
7	14	水	3 4	実習	ワークショップ	耳鼻咽喉科・高橋	臨 2
7	15	木	3 4	実習	学外体験実習 8	耳鼻咽喉科・高橋	

# 感 染 系

責任者 片 峰 茂  
感染分子（感染分子解析学）  
内線：2210 E-mail:katamine@net.

## 1．教育目標・方針

感染系では人体に感染し、種々の病的反応を引き起こす病原体及びそれを媒介する生物を対象とする。病原体とは細菌、スペロヘータ、リケッチア、マイコプラズマ、クラミジア、ウイルス、原虫、寄生虫、真菌など多岐に亘る。内容はこれら病原体の性質を理解するだけでなく、感染し発症に至る要因、病理、免疫反応、臨床、疫学、予防なども含まれる。更に地域社会、国際社会との交流の拡大や、人間生活環境、生活様式の変化により感染症も変貌しつつある。感染系では基礎的・臨床的知識の習得だけでなく、広い視野からの応用も含めた認識力・洞察力の養成をも目標とする。特に単なる臨床医に必要な知識の習得だけでなく、医科学を研究する研究者としての素養を身につけ、問題解決力を養う事を重視する。

## 2．授業内容（講義・実習項目）

感染系の講義はPart A（細菌学、真菌学、微生物遺伝学、微生物感染論）、Part B（ウイルス学）、Part C（寄生虫学、原虫学、衛生動物学）より構成され、各々のパートの専門家により分担して行われる。実習では机上では学べない部分を具体的に体得する。

筆記試験問題も各パート毎に作成するので、講義ノートもパート毎に分別して整理することを勧める。

## 3．教科書、参考書等

書 名	著 者	出 版 社	定 価
微生物学	畑中、嶋田 編	文光堂	6,000 円
戸田新細菌学	吉田、柳 編	南山堂	15,000 円
医科ウイルス学	大里 編	南江堂	8,800 円
図説人体寄生虫学	吉田 著	南山堂	9,270 円
NEW寄生虫学	小島 編	南江堂	7,500 円

## 4．評価法

上記1に述べた目標が達成し得たか否かを、筆記試験・実習レポート等で総合的に評価する。

## 5．教官名

Part A（細菌学、真菌学、微生物遺伝学、微生物感染論）

病態生理：河野 茂

非常勤講師：平山壽哉、大石和徳（熱帯医学研究所）、中山浩次（歯学部）

Part B（ウイルス学）

感染分子：片峰 茂、森内良三、坂口末廣

先導生命科学研究支援センター：佐藤 浩

非常勤講師：岩崎琢也（熱帯医学研究所）、西園 晃（大分医科大学）

Part C（寄生虫学、原虫学、衛生動物学）

非常勤講師：青木克己、神原廣二、高木正洋、平山謙二（熱帯医学研究所）

印は各パートの責任者

感染系授業予定（3年前期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教官	教室
4	6	火	3	B. ウイルス学	ウイルスの形態・分類・複製	感染分子・片峰	第1
			4		ウイルスの起源と進化		
4	7	水	2	A. 細菌学	細菌の形態学・代謝と増殖	熱研・平山（壽）	第1
4	9	金	3	B. ウイルス学	ウイルスの戦略（抗原変異・持続感染）	感染分子・片峰	第1
4	13	火	3	A. 細菌学	消毒と滅菌・微生物感染のしくみ	熱研・平山（壽）	第1
			4		細菌遺伝学		
4	14	水	2	A. 細菌学	グラム陽性球菌	熱研・平山（壽）	第1
4	16	金	3	B. ウイルス学	ウイルス感染症の予防と治療	感染分子・片峰	第1
4	20	火	3	A. 細菌学	グラム陰性球菌	熱研・平山（壽）	第1
			4		グラム陽性桿菌		
4	21	水	2	A. 細菌学	グラム陰性桿菌	熱研・平山（壽）	第1
4	23	金	3	B. ウイルス学	ミキソ、ポックス、パポバ、アデノウイルス	感染分子・片峰	第1
4	27	火	3	A. 細菌学	偏性嫌気性菌	歯学部・中山	第1
			4		口腔内病原細菌		
4	28	水	2	A. 細菌学	グラム陰性桿菌	熱研・平山（壽）	第1
4	30	金	3	B. ウイルス学	パルボ、ヘルペスウイルス	熱研・岩崎	第1
5	7	金	3	B. ウイルス学	ピコルナ、レオウイルス	熱研・岩崎	第1
5	11	火	3	A. 細菌学	医真菌学	病態生理・河野	第1
			4		ー深在性真菌症を中心にー		
5	14	金	3	B. ウイルス学	パラミキソウイルス、トガ・フラビウイルス	熱研・岩崎	第1
5	18	火	3	A. 細菌学 実習 (1)	細菌の染色と観察	感染分子・森内良他	実1
			4		細菌の染色と観察		
5	19	水	1	A. 細菌学 実習 (1)	細菌の染色と観察	感染分子・森内良他	実1
			2		細菌の染色と観察		
5	21	金	3	B. ウイルス学	肝炎ウイルス（HBV, HCU）	感染分子・森内良	第1
5	25	火	3	A. 細菌学 実習 (2)	抗酸菌と腸内細菌	感染分子・坂口他	実1
			4		抗酸菌と腸内細菌		

感染系授業予定（3年前期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教官	教室
5	26	水	1	A.細菌学 実習 (2)	抗酸菌と腸内細菌	感染分子・坂口他	実1
			2		抗酸菌と腸内細菌		
5	28	金	3	B.ウイルス学	レトロウイルス	感染分子・森内良	第1
6	1	火	3	C.寄生虫学	蠕虫総論	熱研・青木	第1
			4		綿虫各論		
6	2	水	1	特別講義	狂犬病ウイルス含めたラブドウイルス 感染症	大分医大・西園	第1
			2				
6	8	火	1	C.寄生虫学	吸虫・条虫各論	熱研・青木	実2
			2	C.寄生虫学実習	虫卵検査		
6	15	火	1	C.寄生虫学実習	幼虫検査	熱研・青木	実2
			2		成虫検査		
6	18	金	2	B.ウイルス学実習	採血	感染分子・坂口	第1
6	22	火	1	C.原虫学	原虫学総論	熱研・神原	実2
			2		マラリア、マラリア実習		
6	25	金	2	B.ウイルス学	ブニヤ.コロナ.アレナ.フィロウイルス	先導生命科研セン ター・佐藤	第1
6	29	火	1	B.ウイルス学実習	ウイルス赤血球凝集価の測定	先導生命科研 センター・佐藤	実1
			2		ウイルス赤血球凝集価の測定		
6	30	水	2	A.細菌学	抗酸菌	熱研・大石	第1
7	6	火	1	C.原虫学	トリパノソーマ・リーシュマニア・ト キソプラズマ他	熱研・神原	実2
			2		上記の実習		
7	7	水	2	A.細菌学	スピロヘータ.リケッチア・マイコプラ ズマ.クラミジア	熱研・大石	第1
7	13	火	1	C.衛生動物学	媒介節足動物など	熱研・高木	第1
			2	C.寄生虫学	感染症感受性遺伝子	熱研・平山謙	
7	14	水	2	B.ウイルス学	熱帯病・新興感染症制御戦略拠点	感染分子・片峰 /熱研・青木	第1

# 免 疫 系

責任者 由 井 克 之  
医動物学（免疫機能制御学）  
内線：2240 E-mail:katsu@net.

## 1．教育目標・方針

免疫系は、ウイルス・細菌・寄生虫など外界の生物や異物の侵入に対して、個体の恒常性維持のために発達した生体系であり、この系を構成する様々な細胞・分子群は、複雑な相互作用を営みながら秩序正しく行動している。この免疫系の成り立ちの基本原則とその破綻の結果生ずる病態の基礎を理解することが第一目標である。免疫学は実験医学であり個々の原理は実験によって裏付けられている。これらの実験の基本を理解し、医科学の科学的検証法を学ぶことが第二の目標である。

さらに、学生諸君が自ら「なぜ？」との疑問を発し、医科学における真理の探究とその応用に思いを馳せることを期待する。講義および実習においては、単に事実の羅列や記憶ではなく、その基礎にある科学的思想と実験的検証に対する理解を深め、問題解決能力の養成を重視する。

## 2．授業内容（講義・実習項目）

免疫細胞の抗原認識・分化・活性化・エフェクタ - 機能・制御機構を中心に免疫系の基本原則について講義・実習を行う。さらに、外的内的恒常性の変化に対して免疫系がどの様に機能するか、またその制御機構の破綻とその病態について講義する。

## 3．教科書、参考書等

書 名	著 者	出 版 社	定 価
Immunobiology, 5th ed.	C.A. Janeway, Jr. 他	Current Biol. Garland	7,600 円
Cellular and Molecular Immunology, 5th ed.	A.K. Abbas A.H. Lichtman	Saunders	6,900円
Fundamental Immunology, 5th ed.	W. Paul	Lippincott-Raven	17,900 円

## 4．評価法

筆記試験。但し、出席実習レポートも考慮する。

## 5．教官名

免疫機能制御学（医動物学）：由井克之、塚田晃三、本間季里

感染防御因子解析学（感染防御）：松山俊文

免疫内分泌代謝病態制御学（内科学第一）：江口勝美

小児病態制御学（小児科学）：森内浩幸

内蔵機能病態制御学（外科学第二）：蒲原行雄

皮膚病態制御学（皮膚科学）：竹中 基

熱帯医学研究所：中村三千男

非常勤講師：阪口薫雄（熊本大学）、鵜殿平一郎（理化学研究所）、  
中西憲司（兵庫医科大学）



免疫系授業予定（3年前期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教官	教室
4	5	月	3	免疫学入門	自然免疫と獲得免疫	免疫機能・由井	第1
			4	抗体	抗体の構造と機能	免疫機能・由井	第1
4	12	月	3	抗体	免疫グロブリン遺伝子	免疫機能・由井	第1
			4	自然免疫	補体	熱研・中村	第1
4	19	月	3	免疫学実習	抗原抗体反応	免疫機能・本間他	実1
			4				
4	26	月	3	免疫学実習	リンパ球の分離と同定	免疫機能・塚田他	実2
			4				
5	10	月	3	B細胞	B細胞の分化と活性化	非常勤・阪口	第1
			4				
5	12	水	3	MHC	免疫遺伝学	免疫機能・由井	第2
5	17	月	3	MHC	MHCと抗原提示の分子機構	非常勤・鶴殿	第1
			4				
5	19	水	3	T細胞	T細胞受容体	免疫機能・由井	第1
5	24	月	3	免疫学実習	抗体産生細胞の同定 フローサイトメトリー	免疫機能・塚田他	実2
			4				
5	26	水	3	T細胞	T細胞の分化と選択	免疫機能・由井	第1
6	2	水	3	T細胞	T細胞の活性化と樹状細胞	免疫機能・由井	第2
6	7	月	1	免疫応答	サイトカイン	感染防御・松山	第1
			2				
6	14	月	1	免疫応答	液性免疫応答	免疫機能・由井	第1
			2	免疫応答	細胞性免疫応答	免疫機能・由井	第1
6	21	日	1	免疫応答	免疫系の制御、記憶	免疫機能・由井	第1

## 免疫系授業予定（3年前期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教官	教室
6	21	月	2	免疫応答	自然免疫、NK細胞、NKT細胞	免疫機能・由井	第1
6	28	月	1	免疫系の疾患	自己免疫疾患	内科1・江口	第1
			2	特別講義	感染防御とIL-18	非常勤・中西	第1
7	5	月	1	免疫系の疾患	免疫不全	小児・森内	第1
			2	免疫系の疾患	アレルギー	皮膚・竹中	第1
7	12	月	1	免疫系の疾患	臓器移植	外科2・蒲原	第1
			2	総括		免疫機能・由井	第1

# 環境因子系

責任者 奥村 寛  
原研放射（放射線応答解析学）  
内線：2320 E-mail:radbio@net.

## 1. 教育目標・方針

生活環境には電離放射線及び紫外線が存在し、特に電離放射線は医療及び研究に利用される。これらの放射線の性質及びその効果、並びに利用を学ぶことにより、環境中の放射線の存在を正しく理解する。また、近年は生活環境の環境ホルモンが問題になっている。環境ホルモンの影響を整理して理解する。

## 2. 授業内容（講義・実習項目）

環境中の放射線および環境ホルモンを理解するには多方面からの解説が必要となる。環境因子がヒトの生体に影響を及ぼすメカニズムを、分子レベルから組織、個体レベルへとシグナル伝達を通して理解することを目的とする。

また正しく放射線及びR Iの利用を学ぶために、実習を行う。実習はR Iの利用を含めた安全取扱とコンピュータを用いたデータ解析を行い、環境因子の作用機序の理解および解明のために実験技術が必要であることを理解する。

## 3. 教科書、参考書等

書名	著者	出版社	定価
医学のための放射線生物学	坂本、佐久間 編	秀潤社	14,000 円
放射線科医のための放射線生物学	ホール 著、浦野 訳	篠原出版	13,000 円

## 4. 評価法

期末試験及び実習レポート

## 5. 教官名

原研放射：奥村 寛、岡市協生、井原 誠

原研細胞：難波裕幸

原研情報：三根真理子、近藤久義

先導センター：松田尚樹、吉田正博

環境因子系授業予定（3年前期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教官	教室
4	8	木	2	放射線の作用	放射線の特性	原研放射・奥村	第1
4	15	木	2	放射線の作用	放射線の生物効果	原研放射・奥村	第1
4	22	木	2	放射線の作用	放射線照射によるDNA損傷と修復（1）	原研放射・井原	第1
5	6	木	2	放射線の作用	放射線照射によるDNA損傷と修復（2）	原研放射・岡市	第1
5	13	木	2	紫外線の作用	紫外線照射によるDNA損傷と修復	原研放射・岡市	第1
5	20	木	2	紫外線の作用	太陽紫外線の生物効果	先導センター・松田	第1
5	27	木	2	環境物質の作用	環境ホルモン	原研細胞・難波	第1
6	3	木	2	R Iの利用	放射線の人体に与える影響	原研放射・奥村 先導センター・松田	第1
6	10	木	2	R Iの利用	R Iの安全取扱い（1）	先導センター・松田 / 吉田	第1
6	17	木	2	R Iの利用	R Iの安全取扱い（2）	先導センター・松田 / 吉田	第1
6	24	木	2	R Iの利用	放射線障害の予防に関する法令	先導センター・松田 / 吉田	第1
6	25	金	3	実習	R I・データ解析	原研放射 原研情報	R I 実験施設
			4				情報 処理室
7	1	木	2	放射線影響の解析	統計・疫学的解析	原研情報・近藤	第1
7	2	金	3	実習	R I・データ解析	原研放射 原研情報	R I 実験施設
			4				情報 処理室
7	8	木	2	放射線の利用	放射線治療の解析	原研放射・奥村	第1
7	9	金	3	実習	R I・データ解析	原研放射 原研情報	R I 実験施設
			4				情報 処理室
7	15	木	2	原爆放射線の影響	原爆被爆者の健康調査	原研情報・三根	第1
7	16	金	3	実習	R I・データ解析	原研放射 原研情報	R I 実験施設
			4				情報 処理室

（情報処理室：原研2号館2階）

# 薬 理 系

責任者 谷 山 紘太郎  
薬理学第二（内臓機能薬理学）  
内線：2180 E-mail:taniyama@net.

## 1．教育目標・方針

薬理学は、疾患の治療に直接にかかわる薬物の作用、効果、その作用の仕組み、応用の理論を講ずる教科である。臨床医学の現場では、薬物作用の本質は治療体系の構築に密接に関わっている。

薬理学では理論と思考力、応用力を重んずる。したがって、講義・実習においては現在臨床応用の中心になっている薬物はもとよりその薬物の原型をも重視する。これにより新薬の利害得失を批判し、創造的な薬物療法を考える能力をもつ医師や研究者の育成を目的とする。即ち薬理学の知識を有することで合理的かつ安全有効な薬物療法が可能となる。

## 2．授業内容（講義・実習項目）

基礎的な事象である薬理学総論、自律神経薬理を講じ、臓器機能別の薬物の作用並びに各病態に於ける応用理論について講ずる。又一部項目については実習を課す。

## 3．教科書、参考書等

書 名	著 者	出版社	定 価
Goodman & Gilman's The Pharmacological Basis of therapeutics	編者：J. G. Hardman L. E. Limbird	McGraw-Hill	11,900 円
NEW 薬理学	編者：田中千賀子 加藤隆一	南江堂	9,064 円
医科薬理学	編集：藤原元始、栗山欣弥 服部圭佑	南山堂	12,360 円
標準薬理学	編集：鹿取 信、海老原昭夫	医学書院	5,800 円

## 4．評価法

テストは筆答試験で行い、完全マスター60%および実習、レポートによって総合評価する。

## 5．教官名

薬理学第一：丹羽、山下、古川  
薬理学第二：谷山、貝原、上園、林  
原研分子：永山  
薬剤部：佐々木  
非常勤講師：姫野明彦（島原保養院）

薬理系授業予定（3年前期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教官	教室
4	7	水	3	総論 1	概論、受容体理論、自律神経	薬理2・谷山	第1
			4	総論 2	情報伝達 1	薬理 2・谷山	第1
4	8	木	1	総論 3	情報伝達 2	薬理 2・谷山	第1
4	9	金	4	生理活性物質 1	セロトニン、ヒスタミン	薬理 2・谷山	第1
4	14	水	3	生理活性物質 2	アセチルコリン	薬理 2・貝原	第2
			4	末梢神経薬理 1	コリン薬、抗コリン薬	薬理 2・貝原	第2
4	15	木	1	生理活性物質 3	カテコラミン	薬理 1・丹羽	第1
4	16	金	4	生理活性物質 4	ペプチド	薬理 1・丹羽	第1
4	21	水	3	末梢神経薬理 2	アドレナリン作用薬	原研分子・永山	第1
			4	末梢神経薬理 3	抗アドレナリン薬	原研分子・永山	第1
4	22	木	1	末梢神経薬理 4	自律神経節・神経筋作用薬	薬理 2・貝原	第1
4	23	金	4	生理活性物質 5	エイコサノイド、サイトカイン	薬理 2・上園	第1
4	28	水	3	炎症免疫薬理 1	鎮痛薬、解熱薬	薬理 2・上園	第1
			4	炎症免疫薬理 2	抗炎症薬	薬理 2・上園	第1
4	30	金	4	生理活性物質 6	アミノ酸	薬理 2・谷山	第1
5	6	木	1	中枢神経薬理 1	抗精神病薬	非常勤・姫野	第1
5	7	金	4	中枢神経薬理 2	抗パーキンソン薬	薬理 1・丹羽	第1
5	13	木	1	中枢神経薬理 3	抗うつ薬、抗躁薬	非常勤・姫野	第1
5	14	金	4	中枢神経薬理 4	中枢興奮薬、抗痙攣薬	薬理 1・山下	第1
5	20	木	1	循環器薬理 1	心不全治療薬	薬理 2・貝原	第1
5	21	金	4	中枢神経薬理 5	抗不安薬、睡眠薬	薬理 1・山下	第1

薬理系授業予定（3年前期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教官	教室
5	27	木	1	循環器薬理 2	虚血性心疾患治療薬、抗不整脈薬	薬理 2・貝原	第 1
5	28	金	4	感染症薬理 1	抗菌薬、抗生物質、抗ウイルス薬	薬理 1・丹羽	第 1
6	3	木	1	感染症薬理 2	抗菌薬、抗生物質、抗ウイルス薬	薬理 1・丹羽	第 1
6	4	金	4	呼吸器薬理	呼吸器作用薬	薬理 2・谷山	第 1
6	10	木	1	循環器薬理 3	利尿薬	薬理 1・丹羽	第 1
6	11	金	4	消化器薬理	消化性潰瘍治療薬他	薬理 2・谷山	第 1
6	17	木	1	循環器薬理 4	高血圧薬	薬理 1・丹羽	第 1
6	18	金	3	内分泌代謝薬理 1	内分泌代謝性疾患治療薬 1	原研分子・永山	第 1
			4	内分泌代謝薬理 2	内分泌代謝性疾患治療薬 2	原研分子・永山	第 1
6	24	木	1	循環器薬理 5	抗凝固薬、抗血小板薬	薬理 1・丹羽	第 1
6	25	金	3	薬理学実習		薬理 1・2 教官	実 (生理)
			4				
7	1	木	1	薬物動態学	薬の吸収・分布・代謝・排泄	薬剤部・佐々木	第 1
7	2	金	3	薬理学実習		薬理 1・2 教官	実 (生理)
			4				
7	8	木	1	腫瘍薬理	総論、代謝拮抗薬、抗生物質他	原研分子・永山	第 1
7	9	金	3	薬理学実習		薬理 1・2 教官	実 (生理)
			4				
7	15	木	1	薬物副作用学	薬物の副作用・相互作用	薬理 1・丹羽	第 1
7	16	金	3	薬理学実習		薬理 1・2 教官	実 (生理)
			4				

# 病理総論系

責任者 下川 功  
病理学第一（内臓機能病態病理学）  
内線：2192 E-mail:

## 1. 教育目標・方針

病理学は疾病（病気）の原因や病態を探究する学問である。人類の発生以来存在する疾病の病理学的研究の歴史はかつて医学史そのものであったし、今もその重要性は変わらない。

病理総論では、まず疾病や病的現象について総体的に把握し理解する。人間に病気を起こす原因（病因）や、それに対する生体の基本的な防御機構や反応を学び、病変や病巣の形成過程を自らの目で確かめ、それが組織や臓器にどのような形態的、機能的障害を与えるかを理解する。その上で、関連臓器や人体そのものに与える影響を考えていくが、病理学を正しく理解するためには、解剖学、生理学、生化学などの基礎教科の十分な知識が要求される。病理総論系では、器官病理学（病理各論）や疾患各論系で学ぶ臨床的事柄を理解する上で必要な病理学の基礎的事項を身につけることを目標とするがその応用は学生自らが考えて追求していく姿勢が望まれる。

## 2. 授業内容（講義・実習項目）

3年前期、週2回（各3時間）。病理総論系を第1病理（下川）、第2病理（田口）、原研病理（関根）で、各項目の講義を交代で担当する。項目によっては実習を行う。

講義項目：序論（疾病論）、病因論（外因）、退行性病変（細胞・組織の物質代謝の異常）、進行性病変（創傷治癒を含む）、循環障害（局所および全身性循環障害、高血圧）、炎症（炎症総論、感染症）、移植病理、奇形、腫瘍病理

## 3. 教科書、参考書等

病理学総論のテキストのみでなく、疾患各論の中で学ぶ病理学各論の参考書も同時に用意しておくこと。掲げた図書以外にも良書は多い。英語の優れたテキストも多く、読みやすいものを選ぶとよい。

書名	著者	出版社	定価
病理学（第6版）	監修：遠城寺宗知 編集：居石克夫、恒吉正登	医学書院	21,000円
現代の病理学 総論 各論	編集：横山武、福西亮 他	金原出版	8,240円 12,360円
新病理学 総論 各論	編集：菊地告吉、吉木敬	南山堂	11,000円 11,000円
エッセンシャル病理学	編集：大西義久、京極方久他	医歯薬出版	7,725円
組織病理アトラス	監修：飯島宗一	南光堂	12,360円
病理組織の見方と鑑別診断	監修：小川勝士	医歯薬出版	12,500円
Basic Pathology	Kumar/Cotran/Robbins	Saunders	9,970円
アダーソン 病理学カラーアトラス （*1）	監訳：山口和克	MEDSiがイカ ザインズインターナショナル （2001年出版）	12,000円+税



書名	著者	出版社	定価
Mims Pathogenesis of Infectious Disease ; 第5版 (*2)	Cedric Mims, Anthony Nash, John Stephen	Academic Press (2000年出版)	約30ドル 数千円?
ウイルス感染症の病理と臨床 (*3)	著者: 青山友三	医学書院 (1991年出版)	13,000円+税

備考 \*1: 各論の教科書ではあるが、読み通すと総論の勉強となる。  
 \*2: 感染症の発症病理に関する学生の歴史教科書。  
 \*3: やや古いですが、各ウイルスとその感染像を理解するには便利な本。

#### 4. 評価法

7月試験期に、病理総論試験を行う。

#### 5. 教官名

第一病理: 下川 功、樋上賀一

第二病理: 田口 尚

原研病理: 関根一郎

非常勤講師: 本田修二 (東京都老人総合研究所)、岩崎琢也 (熱帯医学研究所)

病理総論系授業予定（3年前期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教官	教室
4	5	月	1	環境と疾患	物理的障害、化学的障害	病理2・田口	第1
			2	環境と疾患	生物的障害、栄養障害	病理2・田口	第1
4	6	火	1	細胞傷害	傷害の原因・機序、傷害の型と形態	病理1・樋上	第1
			2	細胞傷害	細胞死、細胞・組織の適応	病理1・樋上	第1
4	12	月	1	循環障害	充血・うっ血、出血・凝固	原研病理・関根	第1
			2	循環障害	血栓・塞栓・梗塞	原研病理・関根	第1
4	13	火	1	代謝障害	糖質・脂質代謝異常、蛋白質、アミノ酸代謝異常	病理1・樋上	第1
			2	代謝障害	核酸・ヌクレオチド代謝異常/無機質代謝異常	病理1・樋上	第1
4	19	月	1	進行性病変	再生、創傷治療	病理2・田口	第1
			2	免疫病理	自己免疫疾患。移植の病理	病理2・田口	第1
4	20	火	1	成長・分化・発達の障害	奇形、発達異常	病理1・樋上	第1
			2	炎症	炎症の定義と分類。急性炎症	病理1・下川	第1
4	26	月	1	腫瘍総論	腫瘍の概念・定義・分類	病理2・田口	第1
			2	腫瘍総論	腫瘍の発育・進展、原因	病理2・田口	第1
4	27	火	1	炎症	化学走性因子	病理1・下川	第1
			2	加齢・老化	老化、寿命を制御するシグナル	東京都老人総合研究所・本田	第1
5	10	月	1	腫瘍各論	上皮性腫瘍	病理2・田口	第1
			2	腫瘍各論	非上皮性腫瘍	病理2・田口	第1
5	11	火	1	炎症	慢性炎症、炎症の組織形態	病理1・下川	第1
			2	感染病理	病原体と宿主応答、バイオハザード	熱研・病変発現機序・岩崎	第1

# 病 理 各 論 系

責任者：田 口 尚  
病理学第二（病態病理学）  
内線：2200 E-mail:

## 1．教育目標・方針

病理学は疾病（病気）の原因や病態を探究する学問である。病理総論では、生体の基本的な防御機構や反応、及び組織の病変形成機序について学んだ。病理各論では、臓器にどのような形態的、機能的障害を与えるかを、各臓器の持つ特異的な形態と機能との関連において学ぶ。具体的な疾患の発症から進展、更には治癒もしくは死に至るまでの病変や病巣の形成過程を自らの目で確かめ、それが組織や臓器にどのような影響を与えるかを理解する。その上で、関連臓器や人体そのものに与える影響を考える。各疾患の持つ特徴的病変が臨床像へどのように反映されるか、また、治療の効果やその影響を理解する上で、病理学的な知識が重要である。臓器別の臨床各系の講義の前に、その領域の病理各論の講義が終了するように時間割りが組まれている。

## 2．授業内容（講義・実習項目）

[ 病理各論Ⅰ ] 3年前期に週2回。第一病理、第二病理、病院病理部で、以下の各項目の講義および実習を行う。

講義項目：心臓、呼吸器、血管、内分泌、血液・リンパ系。

[ 病理各論Ⅱ ] 3年後期に週2回。第一病理、第二病理、原研病理で、以下の各項目の講義および実習を行う。

講義項目：消化管、肝臓・胆嚢・膵臓、生殖器、乳腺、腎泌尿器、脳神経。

## 3．教科書、参考書等

病理学総論のテキストの項に記載している。特に指定教科書はないが、掲げた教科書以外にも良書は多い。英語の優れたテキストも多く、読みやすいものを選ぶとよい。

## 4．評価法

前期末及び後期末の講義終了後に、それぞれ[病理各論Ⅰ]と[病理各論Ⅱ]の試験を行う。

講義の試験の他に、実習試験も行う。各領域ともに6割以上を合格点とする。原則として、実習には全て出席することが受験資格となる。

## 5．教官名

内蔵機能病態解析（病理1）：下川功、樋上賀一、大谷 博

病態病理（病理2）：田口 尚、重松和人、入江準二

原研病理：関根一郎、中山敏幸、中島正洋

病院病理：林徳眞吉

非常勤講師：鳥山寛（熱研）、松尾 武（長崎県総合保健センター）、岩下明德（福岡大学）、服部隆明（滋賀医大）、浅田祐士郎（宮崎大学）、岸川正大（長崎病理診断研究所）

病理各論系授業予定（3年後期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教官	教室
9	29	水	3	肝の病理	正常・形成異常	熱研病理・鳥山	第2
			4		肝炎		
10	1	金	1	口腔・唾液腺	形成異常・炎症・腫瘍	原研病理・ 関根、中山、中島	第2
			2	食道、胃	炎症・腫瘍、正常構造・胃炎・潰瘍		
10	6	水	3	肝の病理	肝硬変、肝腫瘍、代謝性疾患	熱研病理・鳥山	第2
			4	肝、胆道系の病理	門脈圧亢進症、炎症・腫瘍		
10	8	金	1	胃	胃炎・胃癌（特別講義）	非常勤・服部	第2
			2	十二指腸	炎症・潰瘍・腫瘍	原研病理・中山	
10	13	水	3	肝、胆道系、膵	肝、胆道系、膵の実習	熱研病理・鳥山	実2
			4				
10	15	金	1	小腸	感染症、炎症性腸疾患、炎症性腸疾患・腫瘍	原研病理・関根、中島、 七條、温、ガビット	第2
			2	消化管病理実習	上部消化管		実2
10	20	水	3	膵臓の病理	炎症・腫瘍	熱研病理・鳥山	第2
			4	陰茎・精巣	炎症・腫瘍	1病理・大谷	
10	22	金	1	小腸	奇形・吸収不良、循環障害・感染症	原研病理・関根、中島、 中山、七條、温、ガビット	第2
			2	消化管病理実習	上部消化管		実2
10	27	水	3	前立腺・性行為 感染症	炎症・肥大・腫瘍	1病理・大谷	第2
			4		実習	1病理・大谷、下川、 樋上、山座	実2
10	29	金	1	虫垂・大腸、結腸	炎症・腫瘍、結腸奇形・炎症	原研病理・関根、中島、 中山、七條、温、ガビット	第2
			2	消化管病理実習	下部消化管		実2
11	5	金	1	大腸	大腸腫瘍（特別講義）	非常勤・岩下	第2
			2	消化管病理実習	下部消化管	原研病理・関根、中島、 中山、七條、温、ガビット	実2
11	10	水	3	外陰・膣・子宮 頸部	良・悪性腫瘍	2病理・重松 入江	実2
			4		炎症、悪性腫瘍		
11	12	金	1	脳神経	痴呆・変性疾患	非常勤・岸川 原研病理・関根、中島、 七條、温、ガビット	第2
			2		実習		実2

病理各論系授業予定（3年後期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教官	教室
11	17	水	3	子宮体部	良性腫瘍	2 病理・重松 入江	実2
			4		悪性腫瘍		
11	19	金	1	脳神経	感染症、循環障害	原研病理・関根、中島、 七條、温、ガビット	第2
			2		実習		実2
11	24	水	3	卵巣	良性腫瘍	2 病理・重松 入江	実2
			4		良悪境界領域、悪性腫瘍		
11	26	金	1	脳神経	脳腫瘍グリア系腫瘍	原研病理・中島、七條、 温、ガビット	第2
			2		脳腫瘍髄膜腫・神経		
12	1	水	3	腎・泌尿器	糸球体疾患	2 病理・田口	第2
			4	妊娠・トロホプラ スト疾患、乳腺	絨毛性疾患、良・悪性腫瘍	2 病理・重松	実2
12	3	金	1	腎・泌尿器	ネフローゼ症候群	2 病理・田口、重松、 入江、マニーン	第2
			2		実習		実2
12	8	水	3	腎・泌尿器	系統的疾患と腎症、結石、間質尿 細管障害	2 病理・田口、重松、 入江、マニーン	第2
			4		実習		実2
12	10	金	1	腎・泌尿器	腎腫瘍、尿管・膀胱の疾患	2 病理・田口、重松、 入江、マニーン	第2
			2		実習		実2

# 分子病態系

責任者 近藤宇史  
原研生化（分子情報制御学）  
内線：2310 E-mail:kondo@net.

## 1. 教育目標・方針

生体成分の構造、機能、および代謝とその調節機構などの分子レベルでの理解はもとより、分子生物学的解析および理解が病態の把握に必須である疾患について、総論的知識と基本的考え方を修得することが目標である。  
生体分子系など基礎医学で学んだ知識と考え方を疾患の成り立ちを理解することに結び付けることと同時に、医学の進歩の最先端を捉える力を養ってもらいたい。

## 2. 授業内容（講義・実習項目）

後期に次の項目について講義を行う。

### 先天性代謝異常症総論

1. 先天性代謝異常症の概念
2. 発生機序
3. 分類
4. 診断と治療の基本的考え方
5. 糖質代謝疾患
6. 脂質代謝疾患

### 代謝疾患総論

1. 血糖調節の病態代謝
2. 血管病変の病態代謝
3. 血液凝固と線溶系の病態
4. 老化の分子病態

### 情報伝達の分子病態

1. 受容体およびその後の受容体機構異常
2. サイトカインネットワークとサイトカイン異常
3. ホルモン異常の分子病態

### 消化管疾患の分子病態

1. 肝臓疾患の分子病態
2. 胃潰瘍の分子病態

### 呼吸器疾患の分子病態

1. びまん性肺疾患の分子病態
2. 閉塞性肺疾患の分子病態

## 3. 教科書、参考書等 必要に応じてプリントを配付

書名	著者	出版社	定価
最新・分子動脈硬化学	森崎信尋 他 編集	ガイカビュー社	8,000 円
標準分子医化学	藤田道也 他 編集	医学書院	10,000 円

## 4. 評価法

試験：前期末に前期の授業内容について100点満点の筆答試験を行い、60点以上を合格とする。

## 5. 教官名

薬理第一：丹羽正美

薬理第二：谷山紘太郎

原研生化：近藤宇史・井原義人

非常勤：河野公俊（産業医科大学）

第二内科：宮原嘉之・松瀬厚人

第三内科：矢野捷介

ヒバクシャ医療センター：大津留 晶

分子病態系授業予定（3年前期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教官	教室
4	7	水	1	アミノ酸代謝	先天性アミノ酸疾患	原研生化：井原	第2
4	14	水	1	脂質代謝	脂質代謝酵素の異常	原研生化：井原	第2
4	21	水	1	糖質代謝	糖質代謝酵素の異常	原研生化：井原	第2
4	28	水	1	糖尿病	糖尿病の分子病態	原研生化：近藤	第2
6	9	水	1	脳神経疾患	血液脳関門の分子病態	薬理1：丹羽	第2
			2	脳神経疾患	神経受容体の分子病態	薬理2：谷山	第2
			3	出血性素因	出血性素因	原研生化：近藤	第2
			4	情報伝達	ホルモン異常の分子病態（1）	ヒバクシャ医療センター、大津留	第2
6	16	水	1	血栓症	血栓とDIC	原研生化：近藤	第2
			2	呼吸器疾患	ARDSと気管支喘息の分子病態	第二内科：松瀬	第2
			3	情報伝達	ホルモン異常の分子病態（2）	ヒバクシャ医療センター、大津留	第2
			4	循環器疾患	心不全の分子病態	第三内科：矢野	第2
6	23	水	1	呼吸器疾患	肺気腫の分子病態	原研生化：近藤	第2
			2	情報伝達	ホルモン異常の分子病態（3）	ヒバクシャ医療センター、大津留	第2
			3	循環器疾患	心肥大の分子病態	第三内科：矢野	第2
			4	呼吸器疾患	肺梗塞と肺血栓の分子病態	第二内科：宮原	第2
6	30	水	1		病的老化	原研生化：近藤	第2
			3	グライコミクス	糖転移酵素と疾病	原研生化：井原	第2
			4	消化管	炎症性腸疾患の分子病態	ヒバクシャ医療センター、大津留	第2
7	7	水	1	消化管	肝臓疾患の分子病態	ヒバクシャ医療センター、大津留	第2
7	14	水	4	動脈硬化	高脂血症と動脈硬化	原研生化：近藤	第2

# 腫瘍系

責任者 松山俊文  
感染防御（感染防御因子解析学）  
内線：2260 E-mail:tosim@net.

## 1. 教育目標・方針

多くの大学で種々の学科目にわたって教えられている癌にかかわる授業を、当大学では早くから腫瘍系という独立した学科目として時間が組まれてきた。今年度は病理学と並行して学ぶことになるが、マクロ、ミクロの病理所見と、ここで紹介する分子機構との間のつながりを意識しながら勉強を進め、個体、組織、細胞、分子の間を自由に行き来しながら考える能力を養って欲しい。この分野は現在最も進歩が早い分野であるが、重要なことはここで紹介される方法論が現在では医学生物系全ての分野の研究の基盤となっているということである。最先端の言葉で語る「がん」の把握に基づき、今後の臨床各科での腫瘍に関する履修の基礎作りを目指す。

## 2. 授業内容（講義・実習項目）

講義

## 3. 教科書、参考書等

書名	著者	出版社	定価
PUB Med (Advanced MEDLINE Search)  ここに無料で公開されている以下の3つの参考書を自在に使えるようにすること  Molecular Cell Biology(4th ed.) Retroviruses Molecular Biology of the Cell(3rd ed.)  なお、Molecular Biology of the Cellは絶版が出ているので購入を勧める。 Molecular Biology of the Cell (4th ed.)	 <a href="http://www.ncbi.nlm.nih.gov/entrez/query.fcgi">http://www.ncbi.nlm.nih.gov/entrez/query.fcgi</a>         Bruce Albert et al. Garland Science	         Garland Science	         11,000円

## 4. 評価法

筆記試験およびレポート（小テストを含む）。小テストは毎回の授業の最後に実施する。出席が2 / 3に満たなかったものは評価の対象としない。

## 5. 教官名

感染防御：松山俊文  
薬剤部：佐々木均  
原研放射：岡市協生

薬理学：谷山紘太郎  
臨床検査：山田恭暉  
保健管理センター：中尾一彦

非常勤講師：佐谷秀行（熊本大学）、鶴殿平一郎（理研免疫アレルギーセンター）



## 腫瘍系授業予定（3年前期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教官	教室
4	9	金	2	腫瘍発生機構	がんの生物学（1）	感染防御・松山	第1
4	16	金	2	腫瘍発生機構	がんの生物学（2）	感染防御・松山	第1
4	23	金	2	腫瘍発生機構	がんの生物学（3）	感染防御・松山	第1
4	30	金	2	腫瘍発生機構	がんの生物学（4）	感染防御・松山	第1
5	7	金	2	腫瘍発生機構	化学発がん	病薬剤・佐々木	第1
5	14	金	2	腫瘍の悪性化	DNA修復異常とがん	原研放射・岡市	第1
5	21	金	2	腫瘍の悪性化	染色体異常	病検査・山田	第1
5	28	金	2	腫瘍の悪性化	染色体異常	病検査・山田	第1
6	4	金	2 3	腫瘍の悪性化	がんの転移・浸潤・血管新生	非常勤・佐谷	第1
6	11	金	2 3	がんへの挑戦	腫瘍免疫	非常勤・鷓殿	第1
7	2	金	2	がんへの挑戦	がんの化学療法	薬理・谷山	第1
7	9	金	2	がんへの挑戦	腫瘍マーカー	保健管理セ・中尾	第1
7	16	金	2	がんへの挑戦	がんの新しい治療	感染防御・松山	第1

# 血液・リンパ系

責任者 朝長万左男  
原研内科（分子治療学）  
内線：2340 E-mail:tomomasa@net.

## 1．教育目標・方針

血液/リンパ系の構成臓器である骨髄とリンパ節の構造を知り、これら組織で産生される造血細胞（赤血球、白血球、血小板）とリンパ球の形態と機能、さらに産生機序を理解する。また止血機構を理解する。こうした血液/リンパ系の理解の上に立って、各血液およびリンパ系疾患の病因と病態、そして臨床（診断と治療）を学習する。

## 2．授業内容（講義・実習項目）

まず最初に血液の構成成分である血球と血漿、さらに骨髄と血球産生機序を学習し、血球形態の理解を顕微鏡実習によって行う。次に赤血球の異常、造血幹細胞異常、顆粒球の異常、リンパ球および免疫細胞の異常、止血機構と出血性素因、小児の血液疾患、血液疾患の治療の各項目について講義を行う。最後に、血液疾患の細胞形態学として主な血液疾患の末梢血および骨髄標本の顕微鏡実習をする。

## 3．教科書、参考書等

エッセンシャル血液病学を教科書として使用するので、同書を購入することが望ましい。各担当教官より必要に応じてプリントが配布される。

書名	著者	出版社	定価
エッセンシャル血液病学 第5版	朝長万左男 他	医歯薬出版	6,500 円
新臨床内科学	高久史磨 他	医学書院	16,480 円
血液学	浅野茂隆 他	中外医学社	8,961 円
血液病学	三輪史朗 他	文光堂	39,400 円

## 4．評価法

毎回、出席カードの代わりに小テストを行い、それを評価に加える。出席率2/3以上の者は定期試験の受験資格を有する。評価判定は委員会（下記担当教官）により決定し、合否判定は教授会で行われる。

## 5．教官名

原研内科：朝長万左男、塚崎邦弘、宮崎泰司、波多智子  
小児科：森内浩幸、上玉利彰

## 血液・リンパ系授業予定（3年後期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教官	教室
9	27	月	1	血液学総論	血球の個体発生・造血細胞の分化と増殖	原研内科・朝長	実2
			2	血球形態実習	末梢血液：血液の成分と機能、正常末梢血液細胞		
10	4	月	1	血球形態実習	骨髄：造血幹細胞と血球の分化 正常骨髄細胞	原研内科・朝長	実2
			2				
10	18	月	1	赤血球系疾患(1)	赤血球総論・貧血総論	原研内科・波多	臨2
			2	赤血球系疾患(2)	鉄欠乏性貧血・各種疾患に随伴する貧血	原研内科・波多	
10	25	月	1	赤血球系疾患(3)	巨赤芽球性貧血・溶血性貧血	原研内科・波多	臨2
			2	赤血球系疾患(4)	造血障害（再不貧・骨髄異形成症候群）	原研内科・波多	
11	1	月	1	リンパ系疾患(1)	リンパ系総論・反応性リンパ系疾患	原研内科・塚崎	臨2
			2	リンパ系疾患(2)	悪性リンパ腫	原研内科・塚崎	
11	8	月	1	リンパ系疾患(3)	慢性リンパ性白血病・成人T細胞白血病	原研内科・塚崎	臨2
			2	リンパ系疾患(4)	脾疾患・血漿蛋白の異常	原研内科・塚崎	
11	9	火	3	白血球系疾患(1)	白血球総論	原研内科・宮崎	臨2
			4	白血球系疾患(2)	急性白血病	原研内科・宮崎	
11	15	月	1	出血性・血栓性疾患(1)	止血機構	原研内科・塚崎	臨2
			2	出血性・血栓性疾患(2)	血小板異常・凝固異常	原研内科・塚崎	
11	16	火	3	白血球系疾患(3)	慢性骨髄性白血病・慢性骨髄増殖性疾患	原研内科・宮崎	臨2
			4	出血性・血栓性疾患(3)	DIC・血栓性疾患	原研内科・塚崎	

## 血液・リンパ系授業予定（3年後期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教官	教室
11	29	月	1	小児血液疾患(1)	小児貧血（溶血性貧血，Fanconi貧血など）	小児科・上玉利	臨2
			2	小児血液疾患(2)	好中球機能と先天異常	小児科・上玉利	
12	6	月	1	小児血液疾患(3)	出血性素因	小児科・上玉利	臨2
			2	小児血液疾患(4)	悪性新生物（小児白血病など）	小児科・上玉利	

# 循 環 器 系

責任者 矢野捷介

内科学第三（循環病態制御内科学）

内線：2840、2843 E-mail:mikan@net.

## 1．教育目標・方針

循環器疾患の病因と病態を系統的に効率よく理解させることを目標とする。このために基礎系および臨床系の関連教室が相互に連絡をとり、情報を交換して一貫した教育を行うようにする。

## 2．授業内容（講義・実習項目）

講義と実習内容は心臓血管系の発生、形態および機能、循環器検査法、循環器診断学、心不全、先天性心疾患、心弁膜症、心筋症、心内膜疾患、心膜疾患、循環器感染症、虚血性心疾患、肺性心、動脈硬化、大動脈疾患、小動脈疾患、静脈疾患、不整脈、高血圧、低血圧とする。

講義内容はその領域の重要事項がもれないようにし、しかも簡潔に要領よく講義して疾患および病態の本質が正確に理解できるようにする。また、講義内容が専門的にならず基本的事項を十分に理解できるようにすることを原則とする。

実習は各々の講義項目に対応してその講義時期に近い時期に実施するように工夫し、講義による理解と実習による理解が相互に深まるようにする。

講義時間が短いので、少なくとも1時間の予習、復習をすすめる。

## 3．教科書、参考書等

書名	著者	出版社	定価
内科学 第6版 Cecil TEXTBOOK OF MEDICINE 20th Edition	上田秀雄、武内重五郎総編集 Wyngaarden Smith	朝倉書店 医学書院	20,000 円
Harrison's PRINCIPLES OF INTERNAL MEDICINE 14th Edition	Petersdorf, Adams, et al	McGRAW- HILL BOOK COMPANY	
THE HEART-Arteries and Veins- 9th Edition	Editor in Chief J.Willis Hurst	McGRAW- HILL BOOK COMPANY	
HEART DISEASE-A Textbook of Cardiovascular Medicine- 6th Edition	Edited by Eugene Braunwald	W.B. SAUNDERS COMPANY	
標準小児科学 目で見える循環器病シリーズ5 - 先天性心疾患 小児心疾患の臨床	前川喜平 中澤 誠 浅井利夫	医学書院 ガガビル社 中外医学社	

## 4．評価法

講義終了後に試験を施行して評価する。

## 5．教官名

第一生理：相川

第三内科：矢野、瀬戸、戸田、芦澤

小児科：宮副

放射線科：坂本、松岡

非常勤講師：早野元信、宇都宮俊徳、賀来 俊、鈴木 伸、森 秀樹、品川達夫、濱脇正好、宮川尚孝  
磯本正二郎

循環器系授業予定（3年後期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教官	教室
9	30	木	2	循環器総論	症候学	内科3・矢野、瀬戸	臨2
			3		心臓血管の構造と機能（1）	生理1・相川	
			4		心臓血管の構造と機能（2）	生理1・相川	
10	7	木	2	生理機能検査	心機能検査（心臓カテーテル、心エコー図など）	非常勤・宇都宮	臨2
			3		心電図・電気生理学的検査	内科3・矢野（小宮）	
			4	先天性心疾患	成人にみられる先天性心疾患	内科3・矢野（河野）	
10	14	木	2	先天性心疾患	チアノーゼ群	小児科・宮副	臨2
			3		非チアノーゼ群	小児科・宮副	
			4		先天性心疾患の外科	非常勤・濱脇	
10	21	木	2	弁膜疾患	リウマチ熱、川崎病	小児科・宮副	臨2
			3		弁膜症（1）	内科3・瀬戸	
			4		弁膜症（2）	内科3・瀬戸	
10	28	木	2	弁膜疾患	心エコー・手術適応	心外科・山近	臨2
			3		弁膜症の外科	心外科・江石	
			4	虚血性心疾患	狭心症（1）	内科3・戸田	
11	4	木	2	虚血性心疾患	狭心症（2）/心筋梗塞（1）	内科3・戸田/（小出）	臨2
			3		心筋梗塞（2）	内科3・矢野（小出）	
			4		虚血性心疾患の外科	心外科・江石	
11	11	木	2	動静脈疾患	解離性大動脈瘤、動脈瘤、動脈閉塞症、静脈瘤	非常勤・賀来	臨2
			3		動静脈疾患の外科	非常勤・宮川	
			4	心外膜疾患など	心外膜炎、心タンポナーデ、粘液腫	非常勤・森	

循環器系授業予定（3年後期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教官	教室
11	18	木	2	心筋疾患	特発性心筋症	内科3・芦澤	臨2
			3		特発性心筋症	内科3・芦澤	
			4		急性心筋炎、感染性心内膜炎	内科3・矢野（河野）	
11	25	木	2	不整脈	上室性・心室性不整脈、W P W症候群	内科3・矢野（小宮）	臨2
			3		房室ブロック、洞不全症候群	非常勤・磯本	
			4		ペースメーカー、植込型除細動器	非常勤・早野	
12	2	木	2	肺性心	肺性心	内科3・戸田	臨2
			3	血圧異常	本態性高血圧症	非常勤・鈴木	
			4		二次性高血圧、低血圧	非常勤・品川	
12	9	木	2	循環器の画像診断	総論	放射線科・坂本	臨2
			3		先天性心疾患	放射線科・坂本	
			4		後天性心疾患	放射線科・松岡	

# 呼 吸 器 系

責任者 河 野 茂  
内科学第二 (呼吸器病態制御学)  
内線 : 2820 E-mail : s-kohno@ net.

## 1 . 2 . 教育目標・方針と授業内容

生態には多くの臓器があり、それぞれ重要な機能を有している。その中で呼吸器系の役割はとくに重要で、生命を維持するために必要なガス交換機能を担っている。また外界と常に接触のある特殊な臓器であるために、特有の疾患が発生することが多い。本講義においては、呼吸器系の解剖、生理、機能を正確に把握するとともに、各種疾患別の病態やX線像を理解し、それらの疾患に対する適切な治療法を学ぶことを目的とする。講義は肺の解剖、生理にはじまり正常肺について学び、内科、外科、放射線学的立場より病変の症候、臨床的診断法を修得し、治療については内科及び外科的方法による疾病に応じた治療法について学ぶ。

## 3 . 教科書、参考書等

書 名	著 者	出版社	定 価
呼吸器感染症 (Common diseases series)	谷本晋一 編	南江堂	6,600 円
理解しやすい学生のための呼吸器病学	原 耕平、河野 茂 編	医薬ジャーナル社	8,640 円
臨床腫瘍学	日本臨床腫瘍学会 編	癌と化学療法社	25,000 円
呼吸器外科	正岡 昭 編	南江堂	13,390 円
新版 : 胸部単純X線診断	林 邦昭、中田 肇 編	秀潤社	4,800 円

## 4 . 評価法

全ての講義・実習終了後に筆記試験を行う。60点以上を合格とする。但し、60点以上であっても、各分野の得点が40%に満たない場合は、その分野については不合格となることがありうる。

また、各講義毎に小テストを行ったり、実習のレポートの提出を求めることがあり、それらの結果も勘案する。

## 5 . 教官名

生理学第一 : 松本逸郎

呼吸器病態制御学 (第二内科) : 河野 茂、岡三喜男 (感染分子)、宮原嘉之、迎 寛、松瀬厚人、宮崎謙繼、東山康仁、田代隆良 (保健学科)、工藤翔二 (非常勤講師)、齋藤 厚 (非常勤講師)

宿主病態解析部門 (熱研内科) : 永武 毅、大石和徳

腫瘍外科 (第一外科) : 永安 武、赤嶺晋治、田川 努、田川 泰 (保健学科)

放射線診断治療学 (放射線科) : 芦澤和人



## 呼吸器系授業予定（3年後期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教官	教室
9	27	月	3	呼吸器病学総論	構造と疾患	内科2・河野	臨2
			4	呼吸生理	酸塩基平衡の異常と呼吸	生理1・松本	
9	28	火	3	肺機能	肺生理、肺機能	内科2・宮原	臨2
			4	肺循環	慢性呼吸不全、肺性心、肺血管疾患、ARDS		
10	4	月	3	呼吸器感染症	起因菌決定法、急性気道感染症	熱内・永武	臨2
			4		肺感染症（1）		
10	5	火	3	呼吸器感染症	慢性気道感染症	内科2・非常勤・工藤	臨2
			4		慢性気道感染症（1）	内科2・宮崎	
10	12	火	3	呼吸器感染症	肺感染症（2）	熱内・大石	臨2
			4		レジオネラ感染症	内科2・非常勤・斎藤	
10	18	月	3	呼吸器感染症	肺感染症（3）	内科2・東山	臨2
			4		肺感染症（4）	保健・田代	
10	19	火	3	呼吸器感染症	慢性気道感染症（2）	熱内・大石	臨2
			4		肺感染症（5）	内科2・河野	
10	25	月	3	びまん性肺疾患	間質性肺炎、過敏性肺炎、肉芽腫性肺疾患	内科2・迎	臨2
			4		薬剤性肺臓炎、COP、その他		
10	26	火	3	アレルギー性疾患	好酸球性肺疾患（気管支喘息など）	内科2・松瀬	臨2
			4	閉塞・職業性肺疾患	COPD、塵肺、肺嚢胞症など		
11	1	月	3	胸部の画像診断	胸部画像診断総論（1）	放射・芦澤	臨2
			4		胸部画像診断総論（2）		
11	2	火	3	胸部の腫瘍	肺癌、良性腫瘍、放射線肺臓炎	内科2・岡	臨2
			4		胸膜と胸壁腫瘍、縦隔腫瘍		
11	8	月	3	胸部の画像診断	異常陰影の解析（1）	放射・芦澤	臨2
			4		異常陰影の解析（2）		
11	15	月	3	呼吸器外科	外科診断技術、周術期管理、手術術式	腫瘍外科・永安	臨2
			4		胸膜と胸壁の外科、横隔膜の外科		
11	29	月	3	呼吸器外科	縦隔の外科	腫瘍外科・田川	臨2
			4		胸部外傷	保健・田川	
12	6	月	3	呼吸器外科	肺の外科（1）	腫瘍外科・永安・田川	臨2
			4		肺の外科（2）		

# 内 分 泌 ・ 代 謝 ・ 栄 養 系

責任者 江 口 勝 美  
内科学第一（免疫内分泌代謝病態制御学）  
内線：2800 E-mail:eguchi@net.

## 1 . 教育目標・方針と授業内容

内分泌学の基本であるホルモンは特異的な内分泌腺から分泌され、血流を介して各ホルモんに特異的受容体を有する標的細胞に作用する生理活性物質と定義されています。講義ではまず、総論としてすべてのホルモんに共通した概念、作用機序、分泌調節機序を理解してもらい、次に各論として代表的ホルモンを分泌する内分泌腺（視床下部下垂体、甲状腺、副甲状腺、副腎、性腺）別に、個々のホルモンの作用、分泌調節、さらに代表的な疾患（末端肥大症、尿崩症、バセドウ病、クッシング症候群など）および最近のトピックについて話を進める予定です。

代謝・栄養系として糖尿病、低血糖、高脂血症、肥満、痛風などの疾患を講義します。糖尿病はインスリンの作用の不足の結果、高血糖を生じますが、慢性的な高血糖が持続しますと糖尿病に特有な腎症・網膜症・神経症などの合併症を生じます。まず最初に、インスリン・グルカゴンなどのホルモンと血糖調節の関係について説明し、糖尿病の分類、糖尿病合併症および糖尿病の治療について講義します。

また、トピックとしていくつかの遺伝子異常による糖尿病についてふれます。高脂血症とは血中脂質（コレステロール、中性脂肪）が増加した状態であり、動脈硬化性疾患（心筋梗塞、狭心症）の主な危険因子です。まず最初にリポ蛋白代謝について説明し、次に高脂血症の分類、動脈硬化の発生機序について講義します。最後に、糖尿病、代謝性疾患の治療の根本は食事療法であり、食事療法の実際について講義します。

## 2 . 教科書・参考書等

書 名	著 者	出版社	定 価
NIM LECTURE:内分泌・代謝病学	井村裕夫・清野 裕 編	医学書院	7,500 円
CECIL TEXTBOOK OF MEDICINE (21th ed)	Russell L. Cecil J.Claude Bennett Lee Goldman } 編	W.B.Saunders company	
Harrison`s PRINCIPLES of INTERNAL MEDICINE(15th ed)	Eugene Braunwald 他編	Mc Graw-Hill	
Oxford textbook of endocrinology and diabetes	John A. H. Wass, Stephen M. Shalet 編	Oxford University press	\$ 375

## 4 . 評価法 試験

## 5 . 教官名

第一内科：山崎浩則、江島英理  
生活習慣病予防診療部：川崎英二  
非常勤：芦澤潔人

内分泌・代謝・栄養系授業予定（3年後期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教官	教室
9	28	火	1	内分泌総論	ホルモン作用機序	非常勤（芦澤）	臨2
			2		疾患総論		
10	5	火	1	代謝・栄養学	栄養学・糖代謝総論	生活習慣病予防診療部 （川崎）	臨2
			2	糖尿病	糖尿病の分類と診断		
10	12	火	1	視床下部・下垂体	視床下部・下垂体後葉疾患	内科（江島）	臨2
			2		下垂体前葉疾患		
10	19	火	1	糖尿病	糖尿病の慢性合併症	内科（山崎）	臨2
			2		糖尿病の治療（1）		
10	26	火	1	甲状腺	甲状腺総論	非常勤（芦澤）	臨2
			2		甲状腺腫瘍		
11	2	火	1	糖尿病	糖尿病の治療（2）	内科（山崎）	臨2
			2		糖尿病性昏睡・低血糖	生活習慣病予防診療部 （川崎）	
11	9	火	1	甲状腺	甲状腺機能亢進症	非常勤（芦澤）	臨2
			2				
11	16	火	1	高脂血症	リポ蛋白代謝・分類	生活習慣病予防診療部 （川崎）	臨2
			2	肥満	分類・成因・治療		
11	30	火	1	副腎	副腎皮質ステロイド	内科（江島）	臨2
			2		副腎皮質の疾患		
			3		副腎髄質の疾患		
			4		性腺・消化管ホルモン		
12	7	火	1	通風	核酸代謝・高尿酸血症	内科（山崎）	臨2
			2	糖尿病	二次性糖尿病・遺伝子異常		
			3	副甲状腺	副甲状腺機能亢進症	内科（江島）	
			4		副甲状腺機能低下症		

# 医学ゼミ

責任者 小路 武彦  
解剖学第三（動的形態分子解析学）  
内線：2130 E-mail:tkoji@net.

## 1. 教育目標・方針

必修選択の科目であり、各科目10名以内の少人数教育を行う。自らが特に学習したい分野を選択し、その分野についてコアとなる教科内容を越えて特定の内容を深く掘り下げる学習を行う。当該分野の医学・科学に対する探求心・問題解決能力の育成と、より深い理解を目指す。少人数で担当教官との双方向性の授業を行うことにより教官と親しく交流すると共に、2年次から4年次まで学年間の壁を越えて共に学ぶ環境を提供する。（但し、平成16年度開講は2年次と3年次のみ）

## 2. 授業科目の選択方法

- A. 各開講科目について、教育目標、授業内容、担当教官、開講場所、開講時間帯等を公示する。
- B. 各学年開始前に、前期・後期別に受講希望科目を学務係に提出する（第3希望まで）。
- C. 第1希望を優先し、各科目へ学生の割り振りを行う。第1希望による受講希望人数が超過した場合には、医学ゼミ委員会において第2希望以下の科目に割り振りを行う。

## 3. 「医学ゼミ」の単位認定について

2年次前期・後期、3年次前期、4年次前期・後期に開講する。3年次への進級には2年次で1単位以上、4年次への進級には3年次までに2単位以上、5年次への進級には4年次までに3単位以上修得する必要がある。卒業のための最低修得単位数は3単位である。

## 4. 指導教員など

医学部教員（保健学科を除く）

# 「医学ゼミ」 平成16年度開講テーマ一覧

前期

ゼミテーマ	責任者	目的・方針	内容	開講時間帯	授業を行う場所	評価方法
1 脳の可塑性と再生	生理学第二 篠原一之	脳機能は親から受け継いだ遺伝情報によってもたらされるだけでなく、生後の学習記憶によって大きく変化する(脳の可塑性)。また、ヒト大人でも分裂増殖する神経幹細胞の存在が確認され、これまで不治の病とされていた、脳の変性疾患(アルツハイマー病、パーキンソン病等)が再生医療によって可能となってきた。そこで、脳の可塑性と再生についての最新の知識と基本的な実験手技を学ぶ。	教官による個別指導の元、最新の論文について勉強し、その内容をプレゼンテーションし、質疑応答を行う。また、脳の可塑性や再生の研究に必要な実験手技も学ぶ。これによって、脳の可塑性や再生の臨床研究に必要な最新の知識と技術を取得する。	基本的には金曜日一校時:参加者との話し合いで変更可能	小会議室、ボンベ会館	授業中の、理解力、プレゼンテーション能力、ディスカッション能力等を総合して評価する。
2 「論文から学ぶ生化学」	生化学 伊藤 敬	学習意欲のある2年生を対象にした生化学への入門科目である。生化学に関連する論文を読み、英語力を養うとともに生化学的な研究を理解し発表する力を養う。	教官が毎回最近の生化学に関する論文を紹介しその内容を理解し質疑応答をする。加えて当番になった学生は、あらかじめ自学した論文を紹介しその内容について全員で議論し、理解を深める。	日曜日午前9時	医学部基礎棟6階生化学教室 カンファレンス室	出席、発表内容など
3 楽しい病理学(臨床病理検討会)	病理学第一 下川 功	臨床病理学的解析方法を学ぶ	1) New England Journal of Medicineに掲載されるCase Recordを読み、主治医や病理医の立場で発表する(臨床病理検討会のシュミレーション)、 2) 教室で行われる実際の臨床病理検討会に参加する。	通常は金曜日1校時(第3金曜日1校時を第4月曜日午後5時から6時半に代える)	病理学第一・医局図書室	発表内容と出席状況による総合評価
4 論文から学ぶ免疫学	免疫動物学 由井克之	免疫学関連の主要な論文(英文)を読むことを通じて、免疫学の方法論とその根底にあるアイデアを理解することにより、免疫学の理解を深めると共に問題解決能力を養う。「免疫学」講義を受ける3年生を主な対象とするが、意欲のある2年生も歓迎する。	3年生「免疫系」において既に学習した内容に関連する主要論文の抄読会を行う。学生があらかじめ自学した論文内容を紹介し、その内容について全員で議論する。論文の選択、読み方などについては、適宜指導する。	金曜日1校時	免疫動物学教室集会室	出席、授業時の態度およびレポート
5 死者からの伝言	法医学 中園一郎	人が死亡する場合、病気に罹患して医療施設にて死亡するいわゆる“病死”のみとは限らない。 確実に診断された疾病が原因で死亡する病死以外の死を異状死というが、年間約10万人の方がこの異状死となっている。 当教室で解剖・検察した異状死の症例を検討してもらうことにより、独居老人の孤独死・Child Abuse・入浴死等の問題点を明らかにしてもらいたい。また、個々の症例を検討することで、より良き医療人のみならず社会人としての心の糧を得てもらえば幸甚である。 とは限らない。		金曜日5校時	法医学教室 セミナー室	レポート
6 ゲノム医学の展望	原研遺伝 新川詔夫	ゲノムプロジェクトの総括をふまえ、ポストシーケンシングにおけるゲノム医学の展望とその成果の医学への応用を学ぶ。	ゲノム科学の原理・方法論を学習し、ゲノム科学の実験シミュレーション、およびゲノム情報の扱い方をパソコン上で実習する。	学生と協議の上、決定	原研遺伝内	授業中の質疑応答の内容
7 分子生物学の研究の動向	感染防御(腫瘍) 松山俊文	教科書だけでは学べない実際の分子生物学の研究の動向を自ら学ぶ	指定した論文を自分達で読んで発表してみることで調べる力、考える力を養う。	金曜日1校時	感染防御集会室	ゼミでの発表を中心に行う。完成度ではなく自分で調べたり考えたりする意欲を評価するようにする。
8 シネ・サイキアトリー: 映画からみる精神医学の世界	精神神経科 小澤寛樹	具体的にイメージしにくい精神医学の様々な現象、症状、問題を映画を通じて、理解を深め、能動的に議論することを目的とする。	精神医学的問題をテーマとした映画あるいはドラマを取り上げ、疑問点を教官とともにグループ討論するときにはレポートし、理解を深める。	火曜日5時以降が、昼の時間	精神科セミナー室	レポート。討論への参加できたかの自己評価
9 病児との触れ合いを通し、『生命』を考える	小児科 森内浩幸	様々なhandicapを抱えながら精一杯生きている病児と直接接していくことによって、生命の大切さやそれを支える医療や社会の役割を考えていく。	大学病院小児科病棟や関連施設に入院中の病児に指導医とともに接し、その子供達に置かれた様々な問題点とその改善策を考え、discussionしていく。主に、出生前診断、未熟児・先天異常、発達遅滞、重病の子、慢性疾患のキャリアオーバーの問題を取り上げていく。	金曜日5校時	附属病院3F病棟(セミナー室に集合)	レポート
10 薬物速度論を用いた処方組み立て方	病院薬剤部 佐々木均、中嶋幹郎	薬物速度論に対する理解を深め、薬物動態の情報に基づいた科学的な処方計画が立案できるようになることを目的とする。	薬物の体内動態を制御することにより、治療効果を高めることができる薬物について、学生各々が薬物速度論を用いた処方計画を立案してもらい、その内容について全員で議論し、理解を深める。処方計画の立案に関しては、薬剤部の教官が分担して指導する。	金曜日1校時	薬剤部局員室	出席、授業時の態度および発表内容
11 診断病理医としての病理のあり方を学ぶ。	病理部 林 徳真吉	臨床医と共に診療を行う病理診断医としての病理を学ぶ。提出された臓器の取り扱い、診断書の作成および学会・研究会発表資料の作成ができるようになる。臨床研修医ローテーターに準じた訓練を行う。	臓器切り出し 肉眼写真撮影 興味臓器/疾患に対する病理組織診断の訓練 病理診断書作製 顕微鏡写真撮影 カンファレンスのプレゼンテーション 病理解剖および解剖例のまとめ(症例あれば)	金曜日一校時+カンファレンスおよび剖検当番。カンファレンスや剖検に出てきた時は振り替えて休講可。従って、規定の時間外のび出しがあり得る。	病院病理部	日常講義中に於ける手技の評価。切除例における診断書・剖検まとめを提出させ、その内容を評価する。

# リサーチセミナー

責任者 篠原 一之  
生理学第二(神経機能学)  
内線: 2150 E-mail: kazuyuki@net.

## 1. 教育目標・方針

基礎系教室で終日研究活動に従事します。セミナーの主たる目的は研究活動を実践する過程で基礎医学系教官とのマンツーマンの触れ合いを通じて基礎医学系教官との親近度を深めるとともに、科学的好奇心を喚起し、科学的創造性を育成すると同時に、具体的な実践を通じて、「医学」が「科学」としていかに開発されるかというプロセスを理解する事であります。

## 2. 期間

平成17年1月6日(木)から平成17年2月18日(金)  
報告書提出は2月末日。

## 3. 研究テーマの選択方法

1. 各教室から研究テーマ、そのテーマを指導する責任教官名とそのテーマに従事する学生数(一つのテーマに複数の学生が付いても良い)が公示される。
2. 各学生は希望する教室とテーマを一つ選択して提出する。
3. この時点で学生自身がテーマを提案してもよい。その場合にはそのテーマについて指導することを承諾する講座を必要とする。
4. 各研究テーマの定員を超過した場合には、学生間の抽選により決定する。
5. 抽選にもれた学生は、定員に満たないテーマの中から、テーマを一つ選択して提出する。
6. 全学生が何れかのテーマに属するまで上記4.と5.の操作を繰り返す。

## 4. リサーチセミナー履修の認定の条件

1. リサーチセミナー開始時にオリエンテーション(総合オリエンテーション、実験動物についての講義)に出席していること、必要な動物実験施設やアイソトープ実験施設の使用に関する説明会に出席していること。
2. 研究活動に120時間以上に従事していること。
3. 研究報告書(A4のフォーマットを準備)をリサーチセミナー責任者に2月末日までに提出すること。(ワ・プロまたはボ・ルペン書きのものに限る。鉛筆書きは不可)
4. 実際の研究記録は配属教室の指導責任者に提出すること。配属教室ではリサーチセミナー終了時に発表会を開き、研究記録とともに評価をしてもらう。指導教官はこの評価を2月末日までにリサーチセミナー責任者に提出する。
5. リサーチセミナー合同発表会に出席し、発表、討論を行うこと。

## 5. 指導講座等

医学部及び熱帯医学研究所の基礎系講座